

姫川流域



●稗田山崩壊地

姫川の上流域は、脆く崩れやすい火山噴出物が分布する急峻な山岳地帯で、土砂流出の激しい支川が多くの扇状地を形成。中流域では日本三大崩れの一つとされる稗田山から多量の土砂が吐き出されています。一方、フォッサマグナに属する姫川本川の東側は地すべり地が点在。土石流、地すべりなど、災害を多発する日本有数の荒廃河川です。

- 流路延長…46km
- 平均河床勾配…1/16
- 流域面積…691.2km²(山本橋上流)

高瀬川流域



●濁沢と不動沢の堆砂状況

高瀬川流域の大部分は粗粒で風化しやすい花崗岩で占められ、水源地は露出岩地帯となっている上、断層が錯綜し、温泉作用による風化も進行。山腹崩壊や溪岸侵食により降雨のたびにおびたしい土砂の生産・流出を繰り返し、急勾配の溪谷はしばしば土砂災害を発生させます。

- 流路延長…31km
- 平均河床勾配…1/13
- 流域面積…350km²(高瀬橋上流)

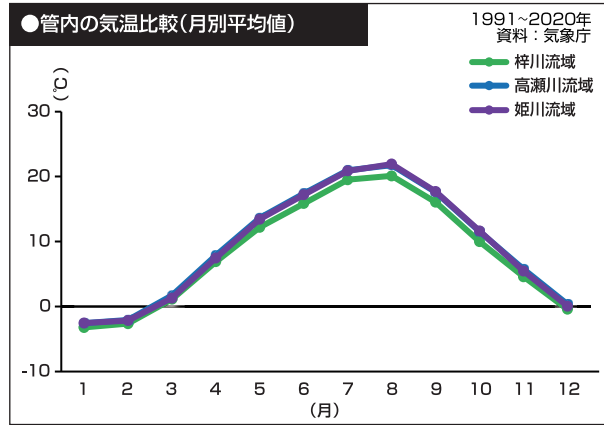
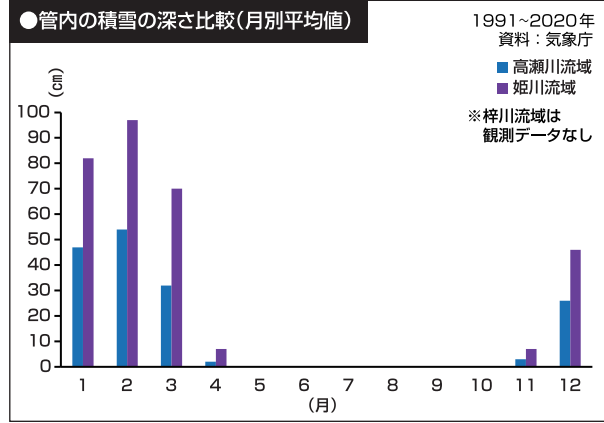
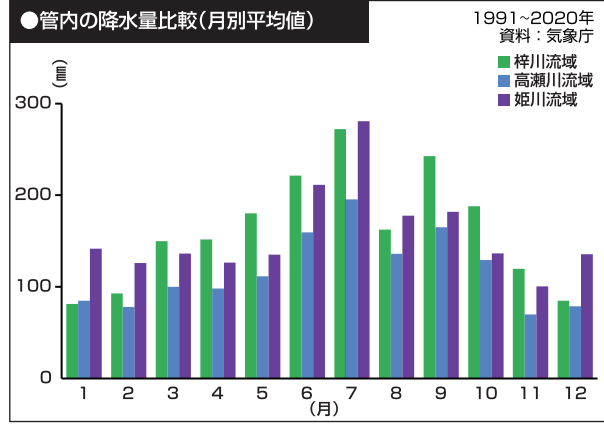
梓川流域



●焼岳の荒廃と大正池

焼岳のそびえる梓川の上流部では火山の噴火や温泉作用で荒廃が進み、大量の土砂が堆積しており、幾度となく土石流が発生してきました。また、花崗岩の風化が顕著で、土石流危険渓流が多く、さらに災害の危険性を高めています。

- 流路延長…50km
- 平均河床勾配…1/20
- 流域面積…559km²(新淵橋上流)



※観測地：梓川流域(奈川)、高瀬川流域(大町)、姫川流域(白馬)